

# 読者から

◇四〇〇字詰め原稿用紙三枚以内  
年齢・電話番号を明記◇あて先  
二 朝日新聞東京本社 朝日  
◇原稿はお返しできません◇

## 再び差別発言を 生まないために

横田 啓子

(米ニューヨーク州在住・  
日本語講師・29歳)

アメリカの田舎で中曽根首相の発言が四日間にもわたり報道された。「アメリカ教育の失敗は黒人や他の少数民族が足を引っばっているからで、日本は単一民族でアメリカのような少数民族問題が無いから教育は成功した」という内容の発言を私はとても恥ずかしく思う。

首相が謝罪したことも伝えられたが、わざわざ東京のアメリカ人特派員が日本文化における謝罪の意義を説明し(人間関係を円滑にするために日本人はよく謝る)、彼が誠実に謝罪しているのかどうかとコメントが加えられたほどである。

黒人や他の少数民族(日系人も含まれる)が白人の進歩の妨害者であるといった考え方は、人種差別であるし、真実ではない。黒人はいまだに白人と同等

の教育を与えられていないのが現実だ。表向きの人種差別は減少しているものの、白人の親たちは子供を黒人の少ない私立学校に通わせたい。黒人の多い学校の設備は悪く、白人の多い学校の一〇分の一以下である。教師は白人が多く、黒人生徒にはあまり期待をかけない。

こうした不平等は黒人の生徒たちの間に欲求不満を生み、校内暴力等の原因になっていく。だから、実際にはむしろ白人の人種差別が黒人や少数民族の足を引っばっていると言える。

また、アメリカ社会の進歩に黒人たちは多大に貢献している。例えば、アメリカ赤十字血液銀行を設立し多くの人命を救ったドゥルー博士。南部の土地改良に成功し、アメリカ農業の発展に尽くしたカーパー氏。また無名の黒人たちは低賃金労働を提供しアメリカ経済の発展に多大に寄与している。

次に、私が憤りを感じるのは、首相が日本には少数民族問題が無いと考えている点だ。日

本にはアイヌ民族もおり、また多数の在日朝鮮韓国人が住んでいる。指紋捺捺問題は少数民族問題の一つであり、海外でも報道されている。平等な民族教育は全く実現されていず、多くの在日朝鮮韓国人子女が日本名を名乗り教育を受けている。見えている問題まで「無い」とする考え方は恐ろしい。これらの人々の人権に真剣に取り組まない国に本当の人権尊重が存在するのだろうか。

海外に出ると、ほとんどの国が少数民族問題を抱えていることがわかる。それらの国々はその社会を問題化して文化・教育面にわたり、苦悩しながらも解決する努力を重ねているように思う。そのために経済発展が遅れようと、その苦勞と努力はその社会全体と人間性の向上に大きく貢献しているのではない。経済力と軍事力、ある国の国民生活の質を判断するのはあまりにも単純だ。

教科書を検定し国内の少数民族問題や他国への侵略の歴史を

扱わず、人権の尊重を深く考えない教育は、この種の差別発言を再び生み出しかねない。

## 分割・民営化をみた

佐々木英利

(神奈川県鎌倉市・国労組合員・33歳)

国鉄の職場を分割・民営化の嵐が吹きぬけて、私は初めて、それが何であったかを知った思いがしています。それは、私たち働く者のあいだを無残にもひき裂く「分割」であり、仲間を思いやり、いたわることすら許さない、経済至上主義の意識の「民営化」であったということでした。

いま職場では、私たちの意思を貫く一切の手立てが、奪い去られてしまったかのようです。私たちが二人寄れば、示威行為とみなされ、管理者の言動を書き留めようとしただけで、時間内組合運動だと脅され、つまりは職場に組合があってはならないのです。

はたして、会社の経営方針